

宮本武蔵 一乗寺の決斗 (1964)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

時間 128分

初公開日 1964/01/01

【解説】

吉川英治の同名長編小説を、鈴木尚也と内田吐夢が脚色し、内田が監督した大型時代劇。中村錦之助主演によるシリーズ五部作の第四部で、吉岡清十郎の失踪から一乗寺での血みどろの決闘までが描かれる。

般若坂で宮本武蔵に左肩を砕かれた吉岡清十郎は、弟の伝七郎に家督を譲り失踪。伝七郎は門弟たちに武蔵の居所を探るよう指示を出す。本阿弥光悦に誘われ遊郭へ向かう途中、武蔵は伝七郎からの果たし状を受け取った。吉野太夫を招き入れた宴席を抜け出した武蔵は、雪の三十三間堂で伝七郎をなぎ倒し、そのまま遊郭に戻っていった。翌朝、吉岡一門に取り囲まれた武蔵のもとに佐々木小次郎が現れ、明後日の朝に決闘することを提案する。そして決闘当日、敵の数は七十を超えていたが、こちらは武蔵ただ一人のみ。果たして武蔵に勝機はあるのか。

【クレジット】

監督 内田吐夢

製作 大川博

企画 辻野公博

小川貴也

翁長孝雄

原作 吉川英治

脚本 鈴木尚也

内田吐夢

撮影 吉田貞次

美術 鈴木孝俊

編集 宮本信太郎

音楽 小杉太一郎

助監督 鎌田房夫

篠塚正秀

野波静雄

菅孝之

出演	中村錦之助	宮本武蔵
	入江若葉	お通
	木村功	本位田又八
	浪花千栄子	お杉
	竹内満	城太郎
	丘さとみ	朱実
	江原真二郎	吉岡清十郎

平幹二郎	吉岡伝七郎
河原崎長一郎	林吉次郎
香川良介	植田良平
佐藤慶	太田黒兵衛
鈴木金哉	御池十郎左衛門
国一太郎	横山勘助
水野浩	南保余一兵衛
山形勲	壬生源左衛門
松浦築枝	同妻
西本雄司	壬生源次郎
花沢徳衛	青木丹左衛門
谷啓	赤壁八十馬
千田是也	本阿弥光悦
東山千栄子	妙秀
東野英治郎	灰屋紹由
徳大寺伸	烏丸光広
林彰太郎	花山院忠長
那須伸太郎	徳大寺実久
霧島八千代	墨菊太夫
暁冴子	小菩薩太夫
八坂京子	唐琴太夫
藤代桂子	引船
小野恵子	りん弥
岩崎加根子	吉野太夫
団徳麿	民八
織田政雄	木賃宿の親爺
中村錦司	吉岡の高弟
高倉健	佐々木小次郎